

## 事後調査における生態系保全ならびに 自主アセス実施ガイドブック作成に向けた 取り組みに関する業績

平成28年9月9日

中田俊宏(株式会社ポリテック・エイディディ)

## 1. 環境影響評価に関連する取り組み

### 1-1 略歴

平成7年4月 (株)ポリテック・エイディディ入社  
(旧称:(株)ポリテクニク・コンサルタンツ)

平成21年～ 日本環境アセスメント協会 研究部会 参加

#### 一貫して環境アセスメント業務に従事

・条例アセス業務(主に高層建築物、  
面整備、工場・事業場等の開発事業)



・自主アセス業務(物流施設、ごみ処  
理施設等の開発事業)



## 1. 環境影響評価に関連する取り組み

### 1-2 日本環境アセスメント協会(JEAS)の活動

■平成21～22年度 研究部会 新技術研究会 ビル・商業部門WGメンバー  
「環境影響評価における温室効果ガスに関する研究」  
－ライフサイクルCO2の予測手法の整理－

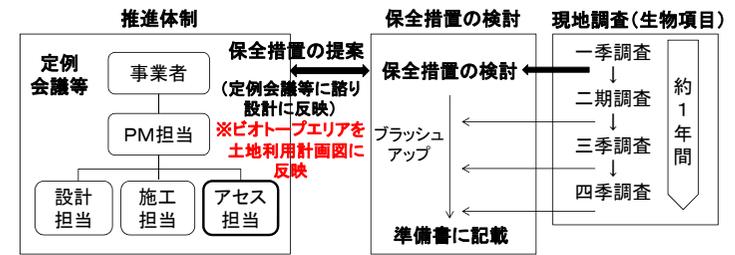
■平成23～24年度 研究部会 新領域研究会 地域・街づくりWGリーダー  
「低炭素型街づくりの環境アセスメントに活用できる温室効果ガス  
予測手法の実務的整理」  
－対策メニュー別のCO2予測手法の整理－

■平成26～27年度 研究部会 新領域研究会 環境配慮WGリーダー  
「企業活動に資する自主的環境アセスメントの進め方の提案」  
－民間企業向けの自主アセスガイドの作成、環境認証制度等と自主アセス  
との関係の整理、JEASによる自主アセス認証制度の検討－  
⇒今回の学会にて一般研究発表

## 2. 事後調査における生態系保全の取り組み

### ■事例紹介: ホンダ寄居工場建設事業に係る事後調査

- (1)事業概要 : 敷地面積 約98ha  
大規模な土地造成を伴う工場建設事業
- (2)地域特性 : 丘陵地/山林、水路、湿地等
- (3)根拠法令 : 埼玉県環境影響評価条例(20ha以上の工場設置)
- (4)環境影響評価段階での保全措置の検討と設計への反映方法



現地調査の早い段階で保全措置を提案し、設計に反映していくことがポイント

## 2. 事後調査における生態系保全の取り組み

### ■事例紹介:ホンダ寄居工場建設事業に係る事後調査

(5)環境保全措置の実施内容及びその効果

① トウキョウサンショウウオの保全—保全措置の経緯—



## 2. 事後調査における生態系保全の取り組み

### ■事例紹介:ホンダ寄居工場建設事業に係る事後調査

(5)環境保全措置の実施内容及びその効果

① トウキョウサンショウウオの保全—再導入後の確認個体数—

再導入後のピオトープ水路等におけるトウキョウサンショウウオの確認個体数

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
卵のう数	64	129.5	84.5	88	23.5	13
性成熟を迎えた成体の数 (卵のう数から推定)	160	325	213	220	60	33

⇒毎年卵のうを確認するが、平成26・27年で減少。

(環境影響評価書で示した個体保全目標数は150個体)

その主な要因は、アライグマによる捕食、産卵池の一部干上がり等が考えられる。

平成28年度はアライグマの捕食対策等により回復傾向。

⇒そのため、ピオトープ等の管理計画・保全計画を見直し、現在、管理作業とトウキョウサンショウウオのモニタリングを継続中。

6

## 2. 事後調査における生態系保全の取り組み

### ■事例紹介:ホンダ寄居工場建設事業に係る事後調査

(5)環境保全措置の実施内容及びその効果

② ハクウンランの保全—保全措置の経緯—



## 2. 事後調査における生態系保全の取り組み

### ■事例紹介:ホンダ寄居工場建設事業に係る事後調査

(5)環境保全措置の実施内容及びその効果

② ハクウンランの保全—無菌培養による増殖作業の様子—



## 2. 事後調査における生態系保全の取り組み

### ■事例紹介:ホンダ寄居工場建設事業に係る事後調査

- (5)環境保全措置の実施内容及びその効果  
 ② ハクウンランの保全ー再導入後の様子ー



無菌培養ハクウンラン



開花した再導入個体

⇒再導入個体において、開花時期にポリネーター(花粉媒介者)と考えられる小型のハチ類の飛来がみられ、自然状況下での結実を確認。

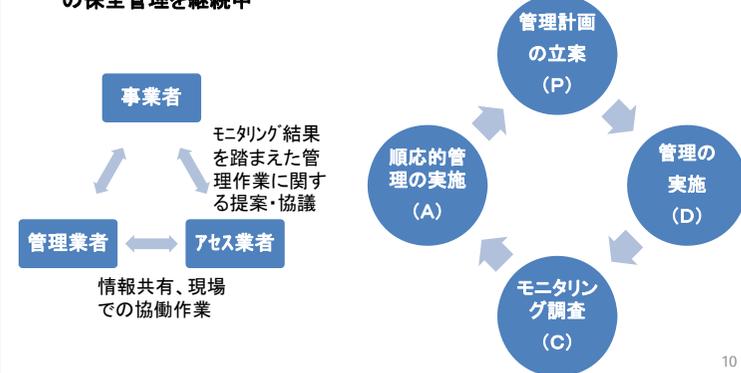
9

## 2. 事後調査における生態系保全の取り組み

### ■事例紹介:ホンダ寄居工場建設事業に係る事後調査

- (6)ピオトープ等の保全管理

- 事業者、管理業者と連携し、PDCAサイクルを回しながら、ピオトープ等の保全管理を継続中



10

## 3. 自主アセスガイドブック作成の取り組み

### 3-1 日本環境アセスメント協会(JEAS)の研究成果

#### 「企業活動に資する自主的環境アセスメントの進め方の提案」の概要

※今回の学会にて一般研究発表⇒詳細は要旨集を参照。

#### ①民間企業向けの自主アセスガイドの作成

以下の項目等の考え方を整理。

- ・メリット等
  - ・実施判断
  - ・実施時期
  - ・項目、手法
  - ・外部対応
  - ・事後調査
- ※活用イメージは右図参照。

#### ②環境認証制度等と自主アセスとの関連の整理

以下の制度の評価項目と自主アセスの関連を整理。

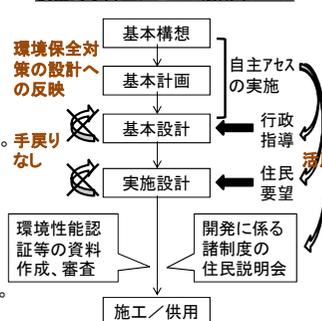
- ・環境リスク調査融資促進利子補給金交付事業
- ・CASBEE
- ・DBJ Green Building認証
- ・SMBCサステイナブルビルディング評価融資
- ・SEGES
- ・ABINC認証

#### ③JEASによる自主アセスの認証制度の検討

認証制度の創設に向け、今後の検討事項を整理。

- ・認証手順
- ・JEASの関与時期
- ・自己評価シート
- ・認証評価基準
- ・認証審査体制、資格者

#### 積極的な自主アセスの活用イメージ



11

## 3. 自主アセスガイドブック作成の取り組み

### 3-2 自主アセスの事例

#### 「物流施設の建設に係る自主アセス」の事例ー概要ー

(1)実施契機	事業のインパクトや住民への説明対応を意識した事業者判断
(2)実施時期	基本計画や基本設計の段階
(3)項目選定	立地する自治体のアセス条例技術指針の対象項目を基本とし、 ・供用後の評価項目に絞り ・事業者の懸念事項である項目(車両走行による騒音、交通等) ・開発諸制度に基づく住民への説明項目(風害、電波障害等) ・事業者のCSR上の重要項目(廃棄物、温室効果ガス等)を考慮し必要十分な項目を選定
(4)手法選定	費用対効果を踏まえて選定 ・騒音:現状との比較が重要→現地調査を実施 ・風害:CFD ・電波障害:机上検討 など
(5)文書の作成・活用	事業者に対して分かりやすいよう作成 ・項目の必要性を端的に整理 ・現設計と対策ケースの結果を比較整理 ・必要な環境配慮事項を整理 ・要約版を作成 など ⇒結果は、中高層紛争予防条例等の説明会資料にも活用

12

### 3. 自主アセスガイドブック作成の取り組み

#### 3-2 自主アセスの事例

「物流施設の建設に係る自主アセス」の事例－結果等の整理イメージ

##### ◆項目の必要性を端的に整理

項目	予測評価事項	必要性
騒音	関連車両の走行による騒音の影響	近隣住民等への説明(物流車両の影響) 近隣住民等への説明(中高層紛争予防条例等) 近隣住民等への説明(地区計画等) 企業PR (CSR)
交通(混雑)	関連車両の走行による交通混雑	
電波障害	施設の有無による電波障害	
風害	施設の有無による風害	
日影	施設の有無による日影	
景観	施設の有無による景観	
廃棄物	施設の供用による廃棄物の発生削減	
温室効果ガス	施設の供用に伴う温室効果ガスの排出削減	

##### ◆シート形式で予測結果等を整理



##### ◆要約版を整理



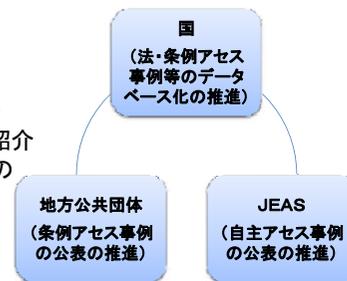
### 4. 事後調査及び自主アセスに関する今後の課題

#### ① 事後調査で得られた知見の集積・公表

効果の不確実な保全措置等の実施内容や、その効果を把握するために行った事後調査の結果をまとめた報告書あるいはその概要(知見)の集積・公表を進める。  
⇒知見の活用へ

#### ② 自主アセス事例の集積・公表

多種多様な自主アセスの実態を紹介し、参考となるよう、自主アセス事例の集積・公表を進める。  
⇒自主アセス実施の促進へ



知見の集積・公表に関する  
役割分担のイメージ